

企業だからできる 社会貢献活動で ちよだを支えます！



千代田に通い、働く企業の社員も「千代田区民の一員」として、「働く地元のために力になりたい」という思いがあります。様々な形で地域の活動を支える社会貢献活動を行っています。企業ボランティアにサポートして欲しいことがあれば是非一度ご相談ください！区内企業の皆様からの社会貢献活動に関するお悩みもお気軽にご相談ください。



多世代向け入浴剤作り講座
(株式会社バスクリン)



防災食の寄付
(NTTビジネスアソシエ株式会社)

地域の皆さんの「困りごと」や「サポートして欲しい部分」を企業の強みを活かし、解決をすすめています。



手作りフェイスシールドの寄付
(プロロジス)



手作りお弁当の配食ボランティア
(ブルームバーグ)

区民同士の交流の機会の創設、ボランティア団体の活動サポート、各種事業やイベントの企画・運営サポートなどあらゆる分野で社員ボランティアが大活躍中！！



(実践事例) 社員ボランティアによる 地域福祉課題解決プロジェクト～【企業体験を実現】～

- フレンズビレッジ千代田 (千代田区障害児支援事業) ×
ラルフローレン合同会社 (ちよだ企業ボランティア連絡会加盟企業)



<活動先概要>

フレンズビレッジ千代田 (千代田区障害児支援事業) は、特別支援学校・特別支援学級に通う小学校1年生～高校3年生を対象に、発達支援と保護者の負担軽減を目的に長期学校休業日に日中活動の場を提供し、専門職による指導と余暇活動を実施しています。

【START】

施設が悩んでいたこと

- ・ コロナ禍でボランティアとの関りが減った
- ・ 活動の中で「仕事」について学べる機会があると嬉しい
- ・ 企業と連携したいがどう繋がってよいかわからない

ミスマッチ



企業が悩んでいたこと

- ・ これまで清掃活動などはしてきたが、もう一歩踏み込んだ地域貢献活動をしたい
- ・ 障がい児のサポートをしたいが、どのように関わって良いかわからない

【STEP 1】

ニーズのマッチング

- ・ ボランティアセンターがコーディネート
- ・ 施設、企業担当者の顔合わせ

【STEP 2】

担当者同士の打ち合わせからプログラムの検討

- ・ かがやきプラザにて担当者打ち合わせを実施 (プログラム実施の約2か月前)
- ・ フレンズビレッジ千代田からは担当職員2名が参加。ラルフローレン合同会社からは担当者2名が参加。
- ・ 施設の概要と取り組み、地域の中での役割についてや、対象となる児童・生徒の様子やこれまでの取り組みなどを説明。
- ・ 説明を受け、社員ボランティアとして施設の抱える課題解決のための企画を考えることとなった。



直接話すことで
プログラムが
より具体的に!



【STEP 3】

交流プログラムの企画

- ・ やさしい日本語を用いて表現する
- ・ ミニショップ店員体験をしてもらう
- ・ 「会社」「仕事」を楽しく知ってもらおう仕掛けづくり

【STEP 4】

交流当日

- ・ 4月5日、フレンズビレッジ千代田児童10名、社員ボランティア6名が参加。
- ・ 3択クイズや「Tシャツたたみ体験」を通し、楽しく「仕事」について学び、社員ボランティアは児童・生徒とのふれあいを通し、子ども達との関わり方を学ぶ。



【STEP 5】

活動の成果と今後の展望



★今回がつながりの第1歩。今後も定期的な交流を目指していきます。

- ・ 「子どもたちにもわかりやすい表現を用いて説明してくれ、感動しました。Tシャツたたみはお家でもできる活動のため、是非お家のお手伝いで実践してもらいたいです。社員ボランティアの方が平仮名で名前を書いてくださったことで親近感を持ちやすかったです。」 (フレンズビレッジ千代田担当者)
- ・ 「直接的なかかわりを通し、子どもたちとのかかわり方を学ぶ良い機会になりました。今回で終わることなく今後も継続してかかわりを続けていけたらと思います。」 (ラルフローレン担当者)

～その他の地域福祉課題解決事例～

◆事例1【コロナ禍を逆手に取る！施設の悩み × 企業の強みを活かした活動】

- 児童発達支援・放課後等デイサービス ぴかいち ×
株式会社セールスフォース・ジャパン（ちよだボランティアクラブ、ちよだ企業ボランティア連絡会加盟企業）

施設が悩んでいたこと

- ・ コロナ禍において対面によるボランティア活動の受入が難しい
- ・ 地域行事の中止や外出自粛により、人との関りの場が限られている



企業の状況・できること

- ・ 在宅ワークが推奨され、社内・社外の打合わせはオンラインが主となる
- ・ 対面での活動は出来ず、在宅やオンラインでできることを検討する



文通でつながる

- ・ 月1回のお手紙交換で「つながっていたい」を解決！
- ・ お題は「好きな給食」や「好きなアニメ」など、共通の話題に花が咲きました✿

オンラインでもつながりを維持

- ・ つながりを切らないためにも『企業の強み』を活かし、「オンライントリップ」を実施。
- ・ トリップ先は「小笠原諸島」と「屋久島」。ぴかいちの子どもたちからはクイズの出題、セールスフォース・ジャパンの社員ボランティアからはトリップ先の魅力を紹介☆
その後もマイクロプラスチックから作った手作りキーホルダーのお渡しなどを行い、継続したつながりを維持しています。



翌年は更に
ステップアップ！

◆事例2【コロナ禍で生まれた新たな悩み × 企業の力で解決！】

- 千代田区立高齢者活動センター ×
株式会社パナソニックグループ（ちよだボランティアクラブ、ちよだ企業ボランティア連絡会加盟企業）

地域高齢者が悩んでいたこと

- ・ コロナ禍でスマホを持つようになったが使い方がわからない
- ・ どうやって使うの？ 家族以外の方に教えてもらいたい



企業の状況・できること

- ・ 地域の福祉課題解決の役に立ちたい
- ・ 地域や施設とのつながり方やアプローチの仕方がわからない
- ・ 対面での活動が可能



スマホの使い方サポート

- ・ 月1回「スマホサロン」のボランティアとして活動
- ・ 個人の悩みにあったサポートが受けられる

- ・ スマホの使い方サポートを受けながら、普段関わることのない方々とおしゃべりを楽しむ機会にもなっています。
- ・ 「スマホの使い方を学ぶために出かける」 = フレイル予防！
- ・ 活動開始から5か月・・・「短時間でも使い慣れないスマホを使うことは疲れるのではないか」という社員ボランティアさんの気づきにより、スマホサロンの後に「パナソニック体操」を実施しています。
「身体がスッキリする～」など、参加者の方からも好評です☺

実際に高齢者の方と直接かかわることで、課題を発見！
新たな活動の創作へつながりました。



ボランティアセンターでは企業の社会貢献活動をサポートする事業も行っています！

◆ちよだ企業ボランティア連絡会

会員企業：26社（令和4年9月現在）

千代田区内の企業とその社員が、地域社会の一員としてより豊かな潤いある地域社会をつくることを目的に、地域の福祉課題に目を向け、協働して地域貢献活動に取り組んでいます。社会貢献活動に関心を持つ区内企業同士が協働し、事業の企画・開催を行っています。

ここが
ポイント！



★おおよその年間スケジュールが決まっているため、活動の目星が立てやすい！

散策会（4月）／ふれあい福祉まつり（9月）／
サンタクロースボランティア（12月）／学習会（2月）
その他年間4回の定例会（協働企画の協議や情報交換など）有。

★1社では難しい活動も数社と一緒に行うことで活動につながる！

★他社との情報交換が行える！



◆ちよだボランティアクラブ

参加企業数：74社（令和4年9月現在）

企業とその社員が、地域のボランティアグループや福祉施設等とつながりを持ち、法人としての企業と個人としての社員が地域福祉の推進を図っています。

ここが
ポイント！



★社員個人が好きな時間に、好きなボランティア活動を選んで活動できる！

仕事で得たスキルや個人の趣味や特技を活かして活動できるチャンス！
活動時間も個人の好きな時間を選べ、楽しみながら活動できます。

★活動時間の統計が出せる！

専用ホームページ上に登録した社員の活動時間の統計が出せるため、
年間の社会貢献活動時間の時間算出に役立てることができます。

★月に2回、耳よりなボランティア募集情報がゲットできる！

毎月第1・3水曜日にメールマガジンで最新のボランティア募集情報を配信しています。

<お問い合わせ・ご相談>

千代田区社会福祉協議会 ちよだボランティアセンター

〒102-0074 千代田区九段南1-6-10 かがやきプラザ4階

TEL：03-6265-6522 / FAX:03-3265-1902

MAIL：volunteer@chiyoda-cosw.jp



皆様からのご相談お待ちしております！